

東京都檜原村湧水仕込み

おにげんべえ

ちからいし

鬼源兵衛の力石



詳細はコチラ



檜原村湧水

檜原の恵みである「湧き水」を神戸（かのと）エリアで汲み上げ、仕込み水に使うことで、檜原村の原風景を想起させる透明感と清涼感を表現。



ペールエール (Pale Ale) Alc. 5.5%

クラフトビールの代表的なスタイル。飽きがこず、何度も口に運びたくなる設計。静かながらも確かに残る。鬼源兵衛が担ぎ上げて尚今も残る力石のようなビールです。

第一印象

トップの香りは、モルト由来の香ばしさと、草原を思わせるホップ感が調和するよう、チェコとドイツ産ホップを使用。

中盤の設計

味わいは、鬼源兵衛イメージのどっしり感がありながら、苦味と酸味のバランスが取れていて、重すぎない設計。

アフターの余韻

飲んだ後から鼻に戻る香りは、派手にせず、ホップ由来の穏やかで深い香りが、長く感じられるよう丁寧に一手間加えて添加。

檜原村で語り継がれる民話「鬼源兵衛の力石」とは

徳川4代将軍家綱の時代、玉川上水開削工事で羽村の堰に檜原村の代表として参加したのが大屋源兵衛。大岳山が見えるところでは、特別な力を發揮するとされ、大岩をブンブン投げながら10人分の力を發揮して大活躍したという村のヒーロー。源兵衛が奉納したという「力石」は重さ200貫(700kg)とも言われ、鬼源兵衛の異名を持つ。鬼という名がつきながらも、おっとりした静かな一面があり、いざという時に驚くような力を發揮し、羽村の堰の工事で一人で50人分の仕事をしたとしてもらった脇差は今も残っている。